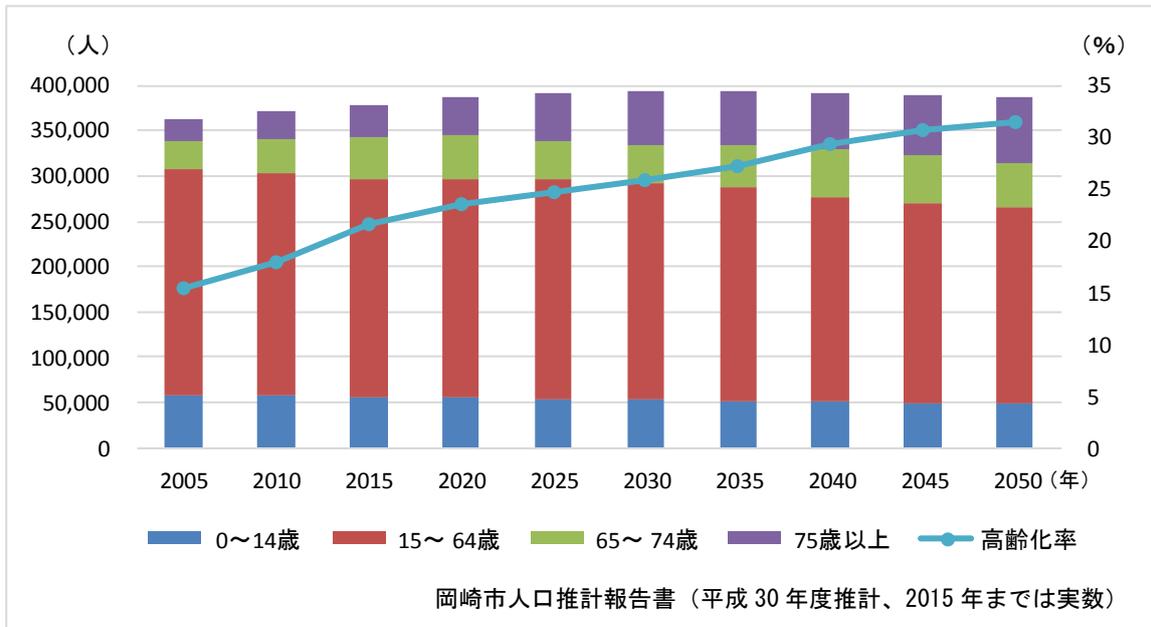


第2章 岡崎市の現状

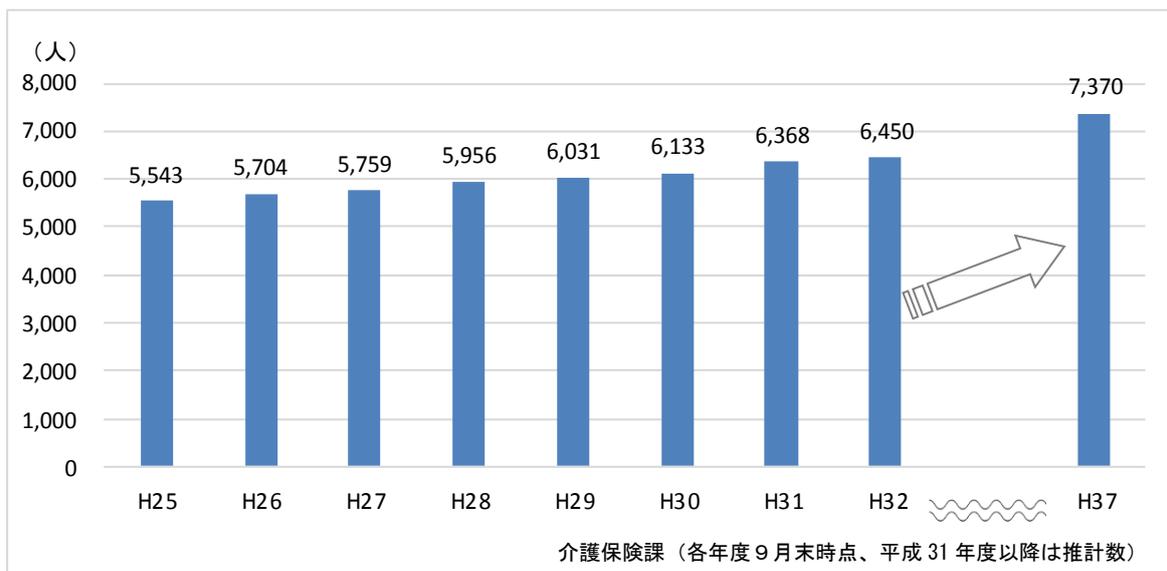
●● 岡崎市の人口と高齢化率

岡崎市の人口は2035年まで増加を続けます。年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は横ばいで65歳以上の人口が増加します。特に75歳以上の後期高齢者が増加していきます。高齢化率は、人口が減少に転じた後も上昇し続けます。



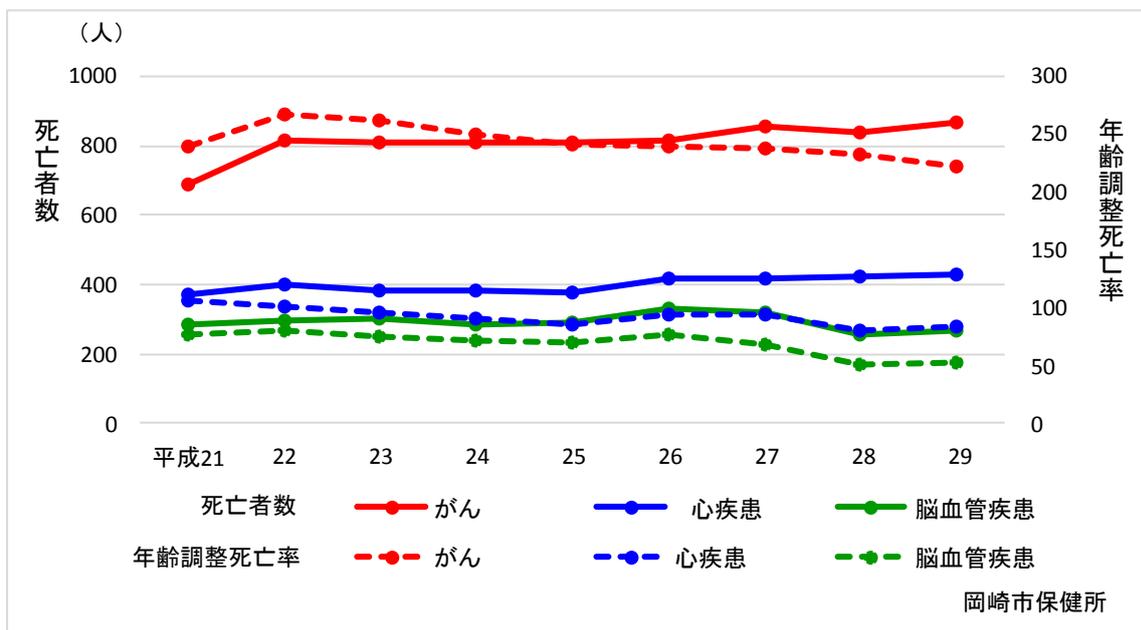
●● 要介護2～5認定者の推移

健康寿命の算出において「不健康な状態」と定義される要介護2～5の認定者数（第1号被保険者）は、年々増加しています。平成32年以降も増加が見込まれます。



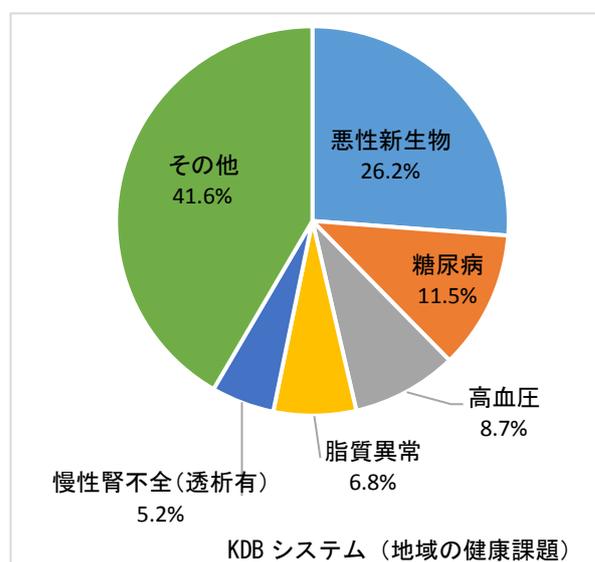
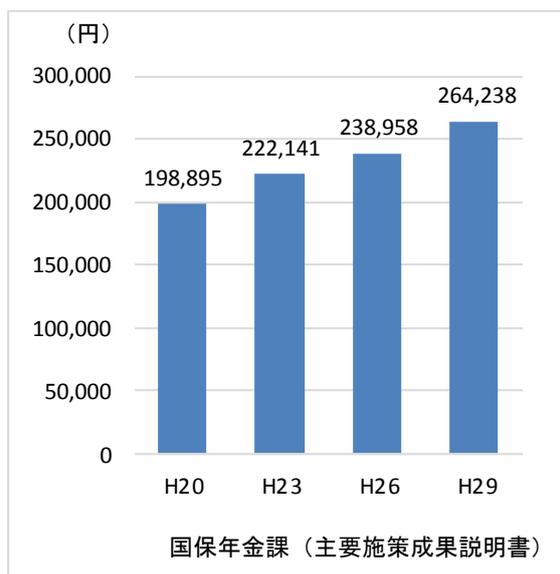
●● 3大疾病の死亡者数と年齢調整死亡率の推移

がんによる死亡者数は増加していますが、年齢調整死亡率は低下しています。心疾患、脳血管疾患による死亡はほぼ横ばいです。



●● 1人当たりの年間医療費（国保保険給付分）

●● 疾病別医療費割合（平成29年度）



国民健康保険の一人当たりの年間医療費は年々増加しています。平成29年度の疾病別医療費割合の約6割が、がん、糖尿病、高血圧等の生活習慣病関連となっています。